

生活単元学習 学習指導案 単元名 いきものとあそぼう	日 時 令和4年 11月29日 (火) 学 年 特別支援学級 (知的) 第1学年 児 童 数 1名 指 導 者 小野 翔太郎
--	--

1 単元について

○ 児童観

本学級の児童は、誰にでも積極的に話しかけることができ、明るく接することができる。会話が成立しないことも多々あるが、自分の考えや思いを必死に言葉にして伝えようとしている。言葉を文章化するのは難しく、何かを伝えたいときは単語で伝えることが多い。言葉による抽象的な理解や意思を伝えることに課題が見られる。また、その単語も発音が不明瞭なことが多いため、相手に正しく伝わらないことが良くある。

これまで、生活単元では、季節ごとの掲示物を作成したり、おもちゃを作ったりしてきた。掲示物作りでは、その月にある行事に関する絵本から行事について学び、その行事に合う掲示物は、どんなものを作成したらよいかなど、タブレットや絵本等を見ながら担任と一緒にイメージをふくらませ、考えながら活動してきた。野菜作りや生き物の飼育も、本人の考えから取り組みをはじめ、大切にお世話したり、観察したりすることができた。

動くものに興味関心が高く、生き物を観察する際は、虫眼鏡を使ったり、タブレットや図鑑で調べたりするなど、とても細かく観察ができた。学習した内容を発表し、できたことを振り返ることで、自己肯定感を高め、様々な場面での学ぶ意欲が高まることを目指していく。

○ 単元観

本単元は、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の小学部の生活科の内容の「2段階オ 人との関わり(ア)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとする。」国語科の内容の「2段階A聞くこと・話すこと ウ 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。」を受けて設定した単元である。

児童はこれまで、ひらがなの学習や基本的なマナーを学習してきた。絵本などでも分かるひらがなが出てくると、とても元氣よく「あった」と教えてくれた。また、挨拶や職員室の入り方などで肯定的な評価を得て喜びを味わっていた。本単元では、生き物発表会を計画し、自分でつくったいきものパネルを活用し、発表の内容を考え練習することで、場に応じた言葉でのコミュニケーションのとり方の学習や相手意識をもった発表の練習ができると考え設定した。多くの先生方に観ていただく緊張感と達成感を味わう良い機会になると考える。

○ 指導観

本単元では、他者意識をもった発表ができ達成感が味わえるように、次のようなことに気を付けて指導していきたい。

【単元目標を達成するための工夫・支援】

- ・単元の流れが途切れないように、計画進行表を掲示し、進捗状況をチェックしながら学習をすすめる。
- ・当該児童本人の言葉や発見を生かした発表内容にする。

【集中力を継続させる工夫・支援】

- ・観察やタブレット、図鑑など情報を得る手段を自分で選択させる。
- ・授業の流れを示し、見通しをもたせる。
- ・机上以外での活動を取り入れる。

【個の実態に応じた支援の工夫】

- ・児童の活動について肯定的な評価を行い、達成感をもたせる。

2 単元の目標

当該児童
○大切に世話することができる。 ○生き物について詳しく調べることができる。 ○教師と協力して、発表の準備ができる。 ○調べて分かったことなどを発表することができる。

3 単元計画 全20時間（本時19時間目）

次	時	学 習 内 容
第 一 次	4	課題の設定（4） 生き物を探す。（春・夏・秋）
	10	情報の収集（10） 生き物を飼う。観察や調べ学習を行う。 エサや住处などについて調べて準備する。
	5	まとめ・創造・表現（5） 「いきものはっぴょうかい」の内容を考え練習する。 「いきものはっぴょうかい」を行う。
	1	振り返り（1） がんばったことやできたこと、うれしかったことなどを振り返る。

4 本時の展開

（1） 本時の目標

- ・生き物について調べて分かったことを、教師の援助を求めながら話すことができる。
- ・伝えたいことを思い浮かべ、練習した言葉や身振りなどで表すことができる。

（2） 評価規準

- ・生き物について調べて分かったことを、教師の援助を求めながらも話すことができた。
- ・伝えたいことを思い浮かべ、練習した言葉や身振りなどで表すことができた。

（3） 準備物

学習の流れカード、生き物の写真、パネル、指し棒

(4) 本時の展開

	学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支 援 (☆)	◆評価 (評価方法)
つ か む	1 はじめのあいさつをする。		
	2 学習の流れを把握する。	○本時の授業の流れを提示して内容を確認する。 ☆学習の流れを知らせて、安心して学習に入れるようにする。	
	3 今日のめあてを把握し、見通しをもつ。	○いきものはっぴょうかいのカードを示して意欲をもたせる。	
見 通 す	おきやくさんに いきもののことをおしえてあげよう。 T:どんな声で発表しますか? C:大きな声でします。 T:なるほどこれぐらい? C:だめ。これぐらい。	☆誤った例を示すことで、ゆっくり、はっきり、ちょうどよい大きさでの発表を意識させる。	
	「何の生き物を発表するか教えてください。」 C:ダンゴムシ バッタ カエル カマキリ コオロギ カニです。 T:分かりました。では、何を使って発表しますか? C:これ(パネル)とこれ(さし棒) T:分かりました。では、この道具を使って、声の大きさに気を付けて皆さんに聞いてもらいましょう。	【①解決したい課題】 どうしたら相手に発表が伝わるかな? ☆準備は基本的に自分でさせる。手伝いが必要なら「手伝ってください」を言わせる。	
考 え る	4 発表会を開く。 「どの生き物から発表しますか?」 C:○○ T:では○○から発表しましょう。 C:バッタは… C:カマキリは… C:カエルは… C:コオロギは… C:ダンゴムシは…	【②解決する手段】 ・声の大きさに気を付ける。 ・パネルを使う。 ・さし棒をつかう。 ・発表する生き物を選択させる。 ☆発表の際に傍につきサポートする。 ○1パネルにつき、1問クイズを出題する。	
話 し 合 う	C:これで生き物発表会を終わります。 感想をお願いします。 ありがとうございました。	【③発表する場面】 ・伝えたい相手がいる方に体を向けて発表させる。 ・ゆっくり、はっきり、ちょうどよい大きさを意識させる。 ○聞いていただいた先生方に感想	◆伝えたいことを思い浮かべ、練習した言葉や身振りなどで表すことができた。(発表)

ふりかえる	T：よくがんばりましたね。とてもよい発表でしたよ。 5 学習を振り返る。 「がんばったことを教えてください。」 C：はっぴょうかい。 T：声の大きさはどうでしたか？ C：できました。	を言っていたく。 ☆言ってもらったことに「ありがとうございます」を言わせる。 ☆ほめられたことを自分で言わせて確認する。 【④振り返り】 ・頑張ったことを発表させ、めあてと照合して、肯定的に評価する。	◆相手に伝わる発表の仕方を振り返ることができる。 (振り返り・発表)
-------	--	---	---

6) 板書計画

がくしゅうのながれ 1. あいさつ 2. やること 3. めあて 4. ・ 5. ・ 6. がんばったこと 7. かたづけ 8. あいさつ めあて いきもの はっぴょうかい 絵 絵 絵 絵 絵 絵 ゆっくり ちょうどよい はっきり
